

令和6年度 学校評価（ホームページ）

学校番号（中15） 長崎市立深堀中学校

1 教育目標

共に学び、高め合う、希望あふれる生徒の育成
・学ぶ意欲 ・思いやる心 ・健やかな心身

◎目指す生徒像

①自ら考え行動する生徒 ②基本的生活習慣と学習規律を身につけた生徒 ③困難や厳しさに立ち向かう生徒

◎目指す学校像

①笑顔あふれる学校 ②一人一人が輝く学校 ③家庭・地域との連携を深め、安心と安全を保障できる学校

◎目指す教師像

①生徒一人一人を大切にする教師 ②常に研鑽し、向上する教師 ③生徒・保護者との信頼関係を構築できる教師

2 経営スローガン

- ・「凡事徹底」 ～当たり前のこと、当たり前でできる学校～
- ・「chance・challenge・change」 ～生徒の可能性を広げる学校～

3 重点努力目標

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ①各種感染症への対応 | ②確かな学力の保障 |
| ③特別支援教育の充実 | ④生きる力の定着 |
| ⑤健やかな身体と安心・安全な学習環境の保障 | ⑥信頼される学校づくりの推進 |
| ⑦小学校及び家庭・地域との連携 | ⑧働き方改革と服務規律の遵守 |

4

領域	項目	肯定的割合（4段階評価 3と4） %	生徒	保護者	職員	分析
学校経営	教育目標	学校教育目標・めざす生徒像達成のため、取り組んでいる。	92.3	93.0	100.0	学校教育目標の目指す生徒像への取り組みは、三者とも高い。学校全体の雰囲気は生徒・保護者は高くなっているが、教職員が低くなっているのは、組織運営・業務改善において、職員によっては多忙感が増していることが原因と思われる。
	学校の雰囲気	学校全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。	91.0	81.7	57.1	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している。	/	/	64.3	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している。	/	/	64.3	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを守って行動している。	91.0	91.7	35.7	生徒と保護者の評価は、おおむねどの項目においても高い評価を得た。ただ、ルールやマナーについては、生徒・保護者は高いものの職員は、さらに改善の必要性を感じている。あいさつは、まだまだ三者とも不十分さを感じており、生徒会の取組を充実させるとともに日々の学校生活の中での指導や保護者等への呼びかけを広げていく。人権教育に関しても人権担当を中心に、毎日の活動の中で人権教育を意識した教育に取り組み、日々生徒が安心して生活が送れるように努めている。
		生徒は、よくあいさつをする。	87.2	65.3	50.0	
		教職員は子どもの悩みや相談に親身に対応している。	88.5	85.9	92.9	
	いじめ防止対策	アンケートや面談をするなどいじめ防止のための対策をとっている。	94.8	88.6	100.0	
	人権教育	周りから大切にされ、他人を大切にしている。	93.6	88.7	64.3	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている。	92.3	92.9	85.7	
	特別支援教育	一人一人に応じた指導や支援の手立てを準備している。	93.6	90.0	92.9	
	学級の安心度	生徒は学級の中で安心して生活することができていると感じている。	88.5	90.3	64.3	

確かな学力	特色ある学校づくり	学校は伝統や校風、地域の実態を踏まえた特色ある教育を行っている。	83.3	88.6	92.9	「家庭学習の習慣化」の取組として「三点固定」に家庭で取り組んできたものの、調査結果はまだまだ厳しい状況である。授業において学習者用PCを使った活動やAIドリルを活用した個に応じた学習方法の展開を行うことで、学力向上を図っていく。
	学習指導・教育課程	教職員は、わかりやすい授業を行っている。	89.7	81.7	85.7	
		生徒は、家庭学習の習慣が身についている。	73.1	70.4	28.6	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している。	78.2	83.1	85.7	
		長崎のまちや自分の住んでいる町が好きである。	80.8	/	/	
健やかな体	学習意欲	生徒は、まじめに授業・学習に取り組んでいる。	89.7	85.7	71.4	健康教育については、健康診断後の成長曲線を用いた指導及び掲示物等を通たり、保健体育科の授業で良く取り組んでいることがわかる。食育については、給食指導を含め本校の大きな課題である。学校三師、栄養教諭と協力をし、生活上
	保健・衛生	学校は環境衛生の管理に努め、健康に関する教育を行っている。	88.5	94.3	100.0	
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている。	74.4	77.8	57.1	
		学校は生徒の体力向上に努めている。	82.1	79.7	71.4	
信頼される学校	食育	生徒は好き嫌いせずに、残さず給食をとっている。	71.8	87.0	50.0	ほとんどの項目で肯定的な評価であり、今後も油断せずに取り組んでいきたい。地域との連携については、様々な地域行事が2学期以降に開催される。生徒と教師の積極的な参加を勧めていきたい。
	安全管理	学校は生徒の安全に気を配り、指導を行っている。	92.2	89.9	92.9	
	情報提供	学校の状況は通信やホームページ等で知らされている。	90.8	92.8	92.9	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている。(地域行事等に参加)	93.5	95.7	92.9	
教育環境	職員資質の向上	研修が充実し、資質が向上している。	/	/	92.9	備品等の整理をし、安全衛生推進委員会、安全点検を実施し、さらなる教育環境面での充実を図っていく。
	環境整備	教育環境が充実し、整備されている。	89.6	89.9	92.9	
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。	/	/	71.4	

5 自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

教育目標への評価は、三者ともに教育目標への取組の項目が高い。職員と生徒が教育目標を目指して努力しようとしているところが数値を高めている。また、明るく楽しい雰囲気であるのは生徒は高いものの職員はやや低い。学校行事やコミュニケーションを高める活動など様々な取組を通して業務の改善をするために職員が協働的なはたらきをしていく必要がある。「あいさつ」については、本校の長年の大きな課題である。三者の数値が違うのは、判断基準の相違によると思われるが、根気強い日常の指導とともに生徒会の主体的活動を継続していくこと、マナー講習会を行い、気持ちよく笑顔であいさつができることが今後の自分のためになるということも伝えていきたい。学校で取り組む家庭における生活習慣「三点固定」の時間と基本的生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）の徹底を図っていききたい。また、PTAと協力し、今年度は、食育（食の大切さ）に重点を置き、指導や取組を実践していきたい。学年によって好き嫌いによる残食も多く、保護者と協力した計画的、組織的な取組を行う。いじめ防止、平和教育、特別支援教育は評価が高いものの、100%になるように目指したい。ここで低い評価をした生徒へのサポートができればと考えている。本校のもう1つの大きな課題が家庭学習への取組である。家庭学習の習慣の生徒・保護者と教師の間での差が顕著である。三者とも低い数値であるとともに生徒の割合が高いのは、生徒への浸透が不十分であるともいえる。特に、特定の学年や教科で学習内容の定着状況がよくなく本校の大きな課題である。環境については、安全衛生推進委員会や安全点検を実施し、即対応することで充実を図っている。今後も生徒会活動と連携し、学校全体で取り組んでいく。働きやすい職場づくりに関しては、各教職員が「協働的なはたらき」を意識していくことで、超勤時間45時間超の職員も減少してきている。